

よみがえるSPUシリーズ

オルトフォンSPUシリーズ用(SPU/A, SPU/G)

ストレート型アームパイプ・ダイレクト装着アダプター

OF-1 ¥3,200

■20年前に発売されたSPUシリーズ

オルトフォンSPUシリーズ(SPU/A, SPU/G)は、オーディオ歴の長いマニアなら一度はこのカートリッジに聴きはれ、いまなお愛用の方も多いと思います。約20年前に発売されたSPUシリーズは、MC型の基本ともされ、数多くのオルトフォン型バリエーションを生んでいることは衆知のことです。

現在の基準(特性)からみれば、ややナローレンジ、ローコンプライアンス……など“オールドファッショング”的な声もありますが、がっしりした中域を基とした再生音は、音楽性の豊かさに於いて他に比するものはありません。50年代後半から60年代の数多い名演奏、名録音のディスクにとってなくてはならない存在で、“SPUでなければ……”の数多いファンを持っていることも、ロングセラーを続けていることもうなづけます。

しかし、20年間の歳月と日進月歩の技術革新の中にあって、“低域の分離が悪く鈍い、音ヌケが悪い、レンジが狭い……”などなど、オールドファッショング視されていることも事実です。最近のダイレクトカッティングなどに代表されるディスクの方式変革により、カートリッジはよりハイコンプライアンスに、軽針圧に、ワイドレンジとの方向へ進んでいます。ヘッドシェルを含めて自重32g、さらにSPU/Aはアダプターを必要とする(32gプラス4.5g)重量級では、SPUシリーズをまとめてトレースさせ得るトーンアームも数少なくなったというハンドルもあり、シエルキーバーの中で休んでいるSPUシリーズも数多くなっているのも事実です。

■SPUシリーズがよみがえった

オーディオクラフトでは、トーンアーム設計の基準カートリッジのひとつに必ずSPUシリーズを加えてきましたが、AC-3000MC、4000MCのシステム化されたアームパイプの数多くの実験から、SPUシリーズをストレート・アームパイプにダイレクト装着することによって、長い付き合いを続けてきたこのカートリッジに、本来の音創りを損うことなく新しい生命を吹き込み、現代的によみがえらせることが成功しました。

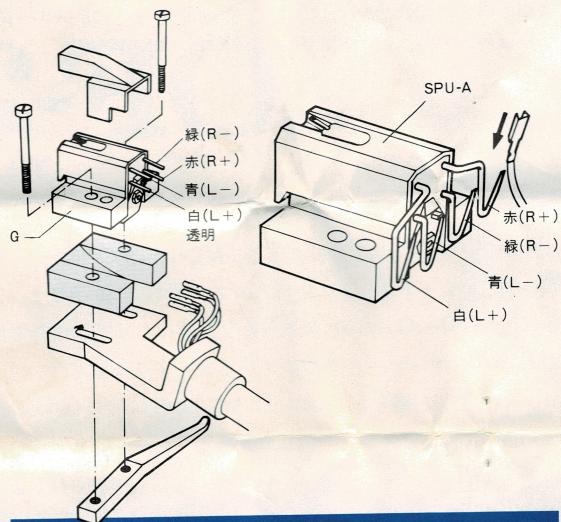
具体的にそのメリットを記しますと、

1. SPU自体の発電効率のロスが少くなるため、音量が1.5dB程高くなる。
2. SPUのもつ低域のモヤつきがなくなり、低音のしまりが良くなる。
3. 低域の改善によって中域から高域への音ヌケが良くなる。
4. 音の起ち上がりが改善され、再生音全域にわたる余分な音のまわりつきがなくなる。
5. 特に大事なことは、SPUシリーズ本来の音が損われることなく、よりクリアにグレードアップができる。

■もう一度見直したいカートリッジとトーンアームの関係

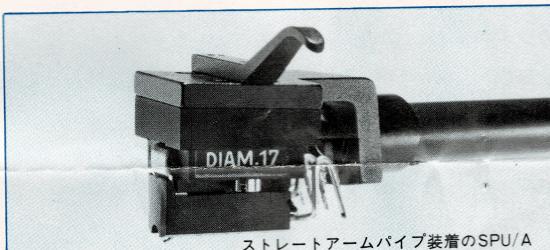
このSPUシリーズ用アダプターOF-1にしても、別売のMC-20, 30, 10用グレードアップ・アダプターOF-2にしても、カートリッジがトーンアームと切っても切れないデリケートな関係をもつ具体的な例ですが、オーディオシステムはトータルバランスがもっとも大事といわれながら、音の入口であるカートリッジとトーンアーム関係が、意外と重視されていないようです。

オーディオクラフトAC-3000MC、4000MCはトーンアームとしてそれ自体の発する音はなくても、カートリッジのもつあるがままの性能を損うことなくアンプへ送り込む役に徹しております。システムアームとして、カートリッジにもっともマッチする質量・長さ・方式のアームパイプを選べるようになっていますが、OF-1を介してのストレート型アームパイプへのダイレクト装着も、徹底したディスクへの愛情とカートリッジとトーンアームの関係追求によって生れた製品です。



■OF-1の使いかた

1. SPUシリーズのヘッドシェルとカートリッジ本体の取付けビスを外し、本体を取り出します。
2. 図のようにOF-1を介して、ストレート型アームパイプのヘッドシェルに取付けます。
3. カートリッジのターミナルピンとアームのリードとの接続は図を参照してください。
4. AC-3000MC、AC-3000MKIIの場合のストレート型アームパイプはM0-S、4000MC、4000MKIIはMC-SLをおすすめします。メインウェイトはそれぞれAW-3、AW-4をご使用ください。

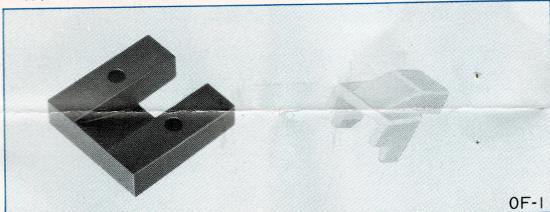


ストレートアームパイプ装着のSPU/A

■ご注意

SPU/Aをお持ちの場合、シェル内にOF-1と同じようなアダプターが組込まれていますから、それをOF-1代りに流用することも可能です。しかし、アダプターの先端に2本の埋込まれたピン(バーチカルアングルを確保するためのもの)がありますが、これを介してヘッドシェルに取付けると音質にロスが生じます。このピンは裏側から尖ったもので押すことによりかんたんに取除けます。この状態ですとSPUのボディがコードを擦ることもあります。(OF-1はこのピン分だけ0.8mmのテーパーがつけてあります)

■OF-1のご使用に際して、取付け法に不明の向きの方は下記へお問い合わせください。(AM8:30~PM5:30まで、日曜・祭・第1, 第3 土曜は休)



OF-1